

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [名古屋市立丸の内中学校] 担当教諭名 [河村 有紀・後山 あかね] (1年A組 32名)
 相手国・地域 [ベルギー]
 海外学校名 [Institut De La Providence-Champion] 担当教諭名 [Claire Faes]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	国際理解・他者理解	12
	英語科	わたしの好きなこと、自己紹介	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	SDGsゴール11「住み続けられるまちづくりを」
メッセージ	みんなで HAPPY な世界を創ろう ～豊かな自然と平和な世界へ～



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・世界中のさまざまな国で暮らす人たちがその人たちの生活様式への興味・関心がわいた。 ・クラスメートや先生たちと積極的にコミュニケーションをとったり、自己表現をしたりできるようになった。 ・自分たちが暮らす街の良さや課題を再発見することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の生徒はフランス語を使用していたため、英語でコミュニケーションをとることができず、意見交換や成果物の発表を深めることは困難であった。 ・時差や学校行事の兼ね合いで、日程調整ができず、テレビ会議などの直接的な交流をすることができなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビなどでベルギーが取り上げられると、教室で話題になり、ベルギーが身近で、関心のある国に変化したことが伺えた。はじめはチョコレートとサッカーのイメージしかなかったが、自分たちで文化を調べたり、相手校から送られた動画や写真を見たりすることで、様々な側面を知ることができた。自分たちとの共通点と違いを肯定的に捉えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを達成するために、何をすべきかを考えるようになった。新聞をはじめ、メディアでは SDGsを取り上げている記事が多いことに気づき、企業の取り組みにも関心をもつようになった。修学旅行のテーマの1つに SDGsを掲げ、取り組みたいと考えるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	自己紹介 学校と名古屋の紹介動画作成	自己紹介は、実際に手紙を送ることで、生徒の学習意欲が増した。動画作成では、多くのアイデアが出され、クラスが一体となって活動することができた。	外国語2 総合2
共有 テーマ学習	10月	SDGsのテーマ学習 名古屋の魅力と課題を発表	日々の生活の中でも、SDGsを意識しながら過ごすことができたようになった。(給食の食べ残しや節電など)名古屋の街について、じっくりと話し合い、SDGsは日本も含めた、すべての国が取り組まなくてはならない課題であることを実感することができた。	総合3
融合 メッセージ作成	11月	持続可能な理想の街を発表 壁画のメッセージとデザインの決定	話し合いと発表は日本語で行ったが、ベルギーの生徒にも理解してもらえるように、イラストや簡単な英語で表現することができた。	総合2
創造 壁画制作	12月	壁画作成 全校集会での発表 贈り物準備	壁画の制作は、美術が得意な生徒が活躍しながら、意欲的に取り組むことができた。昨年アートマイルを経験した2年生も参加した。全校集会では、これまでの取り組みを発表し、完成した壁画を披露した。	総合4
評価 振り返り 自己評価	2月	壁画の鑑賞	完成した壁画を鑑賞し、何が描かれているのかを予想したり、色使いの違いを話し合ったりした。同封されたお菓子やおもちゃに興味を示し、添えられた説明文を熱心に読む姿が見られた。	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	相手国に壁画を送る際に同封する「日本の贈り物」を話し合ったり、準備をしたりすることで、理解が深まった。
異文化を理解する力	4	SDGsの学習を進める中で、ベルギーだけでなく、さまざまな途上国の課題についても考えを深めることができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	動画の作成や名古屋の魅力と課題の発表、SDGsに関する発表など、クラスメート及び全校生徒に学習内容を発表する機会を作ったことで、自信もついたと感じる。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	4月当初は人とのコミュニケーションを苦手とする生徒が多かったが、活動を深めることで、徐々に双方向のやりとりができるようになってきた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	物事を多角的・客観的に捉える力は、まだついていないと感じる。また、自分の意見が否定されると相手を受け入れない傾向が見られる。
主体的に考え行動する力	4	動画制作や全校集会での発表、贈り物の決定や準備など、生徒が主体的に行動する場面が増えた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	学級内での話し合いや1つの目標に向かって協働する力は少しずつついてきたが、海外の相手との協働学習は、反省が残る。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	多くの学びや想いを、1つの形にする難しさはあるが、発信する力はあると感じる。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	時間を十分に確保することができなかった。